

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽら
 令和6年12月発行・第212号
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園
 TEL:0952-31-6877



11月は落ち葉や木の実などを使ってお家を作りました♪
 赤ちゃんの日は足形アートをしました。ママたちが子どもたちの足形を使って、サンタさんやツリーなどに变身させていましたよ!!シニアサロンではおにぎらず作りをして皆さんでいただきました。美味しそうですね♪

かわいいお家だね♪



♪足形アート♪

♪おにぎらず作り♪



美味しそうですね♡



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか? **日時: 12/20(金) クリスマス会**
1/10(金) ぜんざい作り

「子どもの成長と安全対策」

今年の11月は子ども達にとって、遊びが大いに盛り上がった期間でした。寒くないので水を使った遊びも続き砂場ではトンネルやダムに水路ができていました。後半は紅葉が一気に進み、園庭に植えた樹木から落ちるどんぐりや木の実拾い、🍂落ち葉集めを夢中で楽しみました。その後の作品作りも色々な発想で展開され、子ども達の想像力が増していることが伺えました。

そんな中、保育園の0歳児さんの遊びに注目していると、園庭を縦横無尽にひたすら歩くことを楽しむ子、砂場にどか〜んと座ったまま30分近くも両手を使い砂の感触を楽しんでいる姿が印象的でした。歩き始めるとあつという間に独り立ちが始まります。子どもの表情も自分の思いと行動が重なると、満面の笑みで保育者に返してくれます。が、保育者はこれからしばらく目が離せません。安全面での見守りと危険回避に集中です。

周囲が多忙な年末はどの家庭も危険がいっぱいです。お子様の周囲の環境を確認・見直して、新しい年を迎えましょう。 三光保育園園長

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】月～金曜(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】9:00～12:30

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の日は、担当職員は不在です。

※その他

12:30～13:30 昼休み・準備の為閉園

13:30～16:00 この時間帯のご利用は、電話での申し込みをお願いいたします。

12月・1月の「子育て支援事業」のお知らせ

① 実施日

- ・12月3日(火) …フリーデー
- ・12月4日(水) …東与賀よかよかサークル
- ・12月5日(木) …なかよしミックス
- ・12月24日(火) …赤ちゃんの日
- ・1月9日(木) …高木瀬あいあいサークル
- ・1月20日(月) …若楠にこにこサークル
- ・1月23日(木) …なかよしミックス
- ・1月27日(月) …赤ちゃんの日
- ・1月28日(火)・30日(木)・31(金)…フリーデー



②時間: 10時～12時

③開催場所: 運動場・子育て支援センター

※事前の電話での申し込みが必要です。

12月の申し込み 12/2(月)～ 9時半～17時

1月の申し込み 1/7(火)～ 9時半～17時

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

※フリーデーは予約は必要ありません。ご都合が付く日にご来園ください。

※感染対策にご協力ください。

※詳しくは「さんこうぽぽら」ホームページをご覧ください。

「子育て、楽しんでー(*^_^*)」

西九州大学短期大学部 地域生活支援学科 介護福祉コース主任 吉村浩美

この機会に自分の子育てについて振り返ってみたいと思います。嫁姑関係に奮闘しながらも4人の子供が巣立ちました。子育てはとても楽しいものでした。しかし、いっぱい悩みもしました。自分が育った環境、自分が育てられた経験は途中からあまり役に立ちませんでした。自分とも違うし、4人とも全く違う感性です。“自分はこのように育ったのでこうなった。なのでそうならないようにこうしよう。”または、“こうなったからここは同じようにやってみよう”…が通じない場面がある…。子育ての仕方は多分高校等で習っていない気がします。看護師・保健師の学校では育児については習いましたが。(今は子育ての仕方を高校で教えるべきではないかと思ったりします💧)しかし今考えれば、子育てを受けた経験があるので、なんとなくできるような気がしていたように思います。幼いころ結構厳しめに育った私は、我が子にも小学校前後ごろから厳しくなりました。勉強で苦労しないように時間を見つけては勉強を教えました。しかし思うように学ぼうとしない我が子に頭を抱えました。そんな時、その子が体調不良になり、病院を受診すると『白血病かもしれないので詳しく検査をします』と言われ、大変ショックを受けました。そして2時間以上検査が行われた間、いろいろなことが頭をよぎり生まれてきてくれた時の気持ちに引き戻させてもらいました。“この子が楽しく生きてくれればそれが一番の幸せ”。生まれてきてくれた時、確かにそう思っていたことを思い出しました。幸い白血病ではなかったのですが、そこからは親の思い通りにいかなくても全く気にならなくなりました。“あの時、本当に重い病気で苦しんで命がなかったかもしれないことを思えば健康でいてくれるだけでどんなに幸せなことか。生きていてくれるだけでいい。”そう思えるようになると自分自身もとても楽になりました。だからと言って手を抜いたわけではありません。ただそれまでと違って自分が楽しく試行錯誤して、怒らずに、いらいらせずに子育てを楽しむことができるようになりました。下の子供たちもいろいろなことが起きてとても大変でもありましたが、悩みはしても子供にイライラすることはなく、それでもとても困ったときは心理の専門家(夫)の意見を聞きながら子供を信じて寄り添いました。振り返ればとてもとても幸せな子育ての時間でした。4人の子供達は今、幸せな時間を過ごしている(と思う💧)。うち3人は子育てに奮闘中です。「なにがあっても楽しんでー(*^_^*)」と心から思います。今は“白血病かも知れない”と、振り返るきっかけがあったことにとっても感謝しています。今、子育てで奮闘されている皆さんも、今しかできない子育てを楽しんでください。時々十分な息抜きをしながら。わからないことは子育ての専門家にどんどん相談し肩の荷を下ろしながら…。

